



インターネットでの情報提供	
提供予定日	平成25年10月24日(木)

平成25年10月23日(水) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当係	担当	電話番号
農業経営課	就農者育成施設係	竹中 勇夫	(直通)058-272-8421 (内線)2848

来春運用開始の岐阜県就農支援センター「^{ふゆはる}冬春トマトの担い手育成事業」 平成26年度研修者募集開始のお知らせ

県では、最重要園芸品目であるトマトの通年出荷体制を強化するため、県が開発した『トマト独立ポット耕栽培システム』を活用し、「冬春トマト」の担い手を育成する実践研修の研修者を募集します。

本事業は、県が施設を設置・運営し、行政、農業関係者、生産者組織等が一丸となった新規就農者の育成等を行うことで、更なる産地の発展を図るものであり、また、本事業の取組みをモデルとし、県内の産地に波及させることを目的としています。

なお、研修場所となる「岐阜県就農支援センター」^{※1}は平成26年4月1日から運用を開始し、今回募集する平成26年度研修者はその第1期生となります。

記

1 募集概要

- ① 募集人数 4名（県内外から募集）
- ② 応募資格
 - 満18歳以上の方（平成26年4月1日時点）
 - 性別、農業経験の有無は不問
 - 「冬春トマト」生産への就農意志のある方
 - 研修修了後、岐阜県内での就農が可能な方
- ③ 募集期間 平成25年11月29日（金）まで
- ④ 応募方法 受講申込書を県農業経営課まで提出（受講申込書は県ホームページ等で入手可）

2 研修概要

- ① 研修期間 平成26年6月から平成27年5月まで（1年間）
- ② 研修内容 県が開発した『トマト独立ポット耕栽培システム』^{※2}を活用した「冬春トマト」の栽培技術や農業経営に必要な知識・技能等について、栽培実習を中心として講義・演習を交えた研修を実施
- ③ 研修受講料 無料（個人経費（テキスト代、研修施設までの交通費等）は自己負担）
- ④ 就農支援 研修修了後に円滑に就農できるよう、研修と並行して、県農林事務所が中心となり、就農希望先の市町村、JA等とともに、農地・施設の取得及び資金調達等の就農に向けた支援を実施

※1 岐阜県就農支援センターの概要

◇ 場 所／海津市海津町平原 1165 (現 県農業技術センター南濃試験地)、敷地面積／23,342 m²

◇ 施設規模・種類／

[生産実習施設] ポット耕栽培ハウス : 3,456 m² (1,728 m²×2 棟)

土耕栽培ハウス : 432 m² (比較検討用)

平成 26 年 3 月完成予定

[事務・研修棟] 事務室、研修室、検査・診断室 等

[作 業 棟] 出荷調整室、車庫、農薬・資材保管庫

平成 26 年 12 月完成予定

(完成までは既存施設を利用)

◇ その他／ポット耕の普及促進を図るため、冬春トマトの土耕栽培を行っている生産者等を対象に、ポット耕に関する講義及び技術指導を実施

※2 トマト独立ポット耕栽培システムの概要

◇ 県農業技術センターが開発した技術

◇ 1 株 1 株を独立したポットで、自動制御の養液供給装置によりトマトを生産

◇ 通常の土耕栽培に比べ高収量のため、経営の安定化を図ることが可能

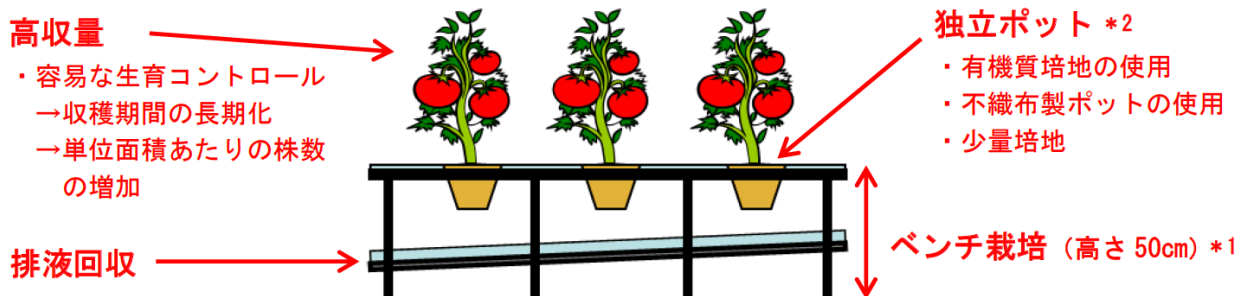
(10 a あたり)

	株数	収穫量
ポット耕	2500 株	30 t
土耕栽培	2000 株	20 t



◇ 栽培方法がマニュアル化されているため、栽培技術の習得が容易

《システムイメージ図》



人に優しい

- ・ 収穫位置が高くなり、作業姿勢が改善される
- ・ 接木栽培の必要がない

環境に優しい

- ・ 培地量が少なく省資源
- ・ 肥料の流出が少ない
- ・ 土壌消毒の必要がない

トマトに優しい

- ・ 病原菌の侵入を抑制できる *1
- ・ 病害の拡大を抑制できる *2
- ・ 培地の温度が調整できる *1・2